

新しい公園と交通を考える まちづくりワークショップ

第1回 NEWS

国東市役所 まちづくり推進課 まちデザイン係
電話:0978-72-5186 FAX:0978-72-9002

テーマ：歩いてまちを再発見！

令和4年11月12日（土）

公園の計画地や市役所周辺を歩いて、まちの魅力や良い所、問題がある所、感じたことなどについて、様々な視点からまちを再発見して整理します。

開会あいさつ、運営メンバー紹介



志丸係長 伊藤課長 佐藤先生 徳永氏

事 務局の志丸係長の司会で開会され、事務局の伊藤課長から開会あいさつ、国東市まちづくりアドバイザーである大分大学名誉教授の佐藤先生からあいさつを頂きました。

計 画策定事業者（西日本コンサルタント株式会社）と事務局のメンバーを紹介後、ワークショップの進行を計画策定事業者の徳永氏に引き継ぎました。

内容説明

<p>計画地</p> <p>■田深川河畔公園の計画地</p> <p>■交通結節点の計画地</p>	<p>公園の役割</p> <p>① 様々な活動ができる 子どもの遊び場、自然とのふれあい、安らぎ・憩いの場、イベント活動の場、健康づくりの場</p> <p>② 環境や風景を良くする 地球温暖化の抑制、生物多様性の保全、美しい景観の創出・保全など</p> <p>③ 地域活性化等の拠点になる カフェ等の飲食店、観光拠点、防災拠点、コミュニティ形成拠点など</p>	<p>交通結節点の役割</p> <p>① 乗り換え機能（交通結節機能） バス乗降場、タクシー乗降場、送迎用乗降場、駐車場、歩行者通路、情報案内等</p> <p>② 交通機能 待合所、トイレ、小規模店舗、イベント広場、観光・イベント情報の提供等</p> <p>③ ランドマーク機能 特徴的な施設外観、サイン機能、緑地等</p>
---	---	---

※壁図の中から抜粋して掲載しています。

田 深川河畔公園は「自然と健康」がテーマとして考えられること、交通結節点は駐車場の機能、様々な交通手段の乗り換え等を考えて計画すること、公園の役割、交通結節点の役割、アンケート調査結果（速報）、ワークショップのスケジュールやルール等について説明しました。

自己紹介



国東市の
・人
・土地がら
・気軽さ
・色
・人と黄色
・人・自然
・自然と人との交流
・自然と人情
・自然（×3）
・自然豊かなところ
・自然のんびり
・自然（海）
・海の色
・海（×2）
・海岸線（×2）
・田深川
・魚
・山
・気候
・のどかさ
・時間のゆっくりなところ
が好きです。

あ らかじめ分かれて着席していた各班の中で、自己紹介しました。「国東市の〇〇が好き」というテーマで、あらかじめ名札に書いてもらい、自己紹介の時にその内容について説明して頂きました。人、自然、海等、国東市の魅力を共有しながら、和やかな雰囲気の中で参加者の方々が楽しそうに説明されていました。

ま ち歩きに備え、班毎に気になった箇所等のコメントを書き留める画板の係と、写真を撮る係が決められました。

まち歩き



交 通結節点の整備予定地では、交通結節機能の核となることが想定される場所（アストくにさきの前）、天皇陛下即位記念植樹、銅像、巨石の橋（おいしいのはし）などを見て回りました。

田 深川河畔公園の整備予定地では、東側から川沿いの遊歩道を通り、左手に整備予定地を見ながら旦過橋付近まで歩いた後、整備予定地内の未舗装路を歩きました。

川 にはカモなどの鳥類が見られ、遊歩道には大きなドングリ（クヌギ）がたくさん落ちていました。参加者からは想像以上に風景が素晴らしいといった感想も聞かれました。



マップ上に整理

ま ち歩きから戻った後、撮影した写真やコメント、意見等を大きなマップ上に整理しました。計画地で見つけた課題を捉えつつ、まちの未来を思い描きながら、たくさんの意見やアイデアが出されました。



意見等の整理

【交通結節点】

①班

- ・屋根付きの休憩所、座れる場所（警察署横広場）
- ・大きい車が入り出ると、子ども達が居づらい、危険
- ・キッチンカーが常駐できるスペースがあればいいなあ ... (週替わりで貸し出すなど)

③班

- ・障がい者向けの駐車場を確保 ・機能的なつながり
- ・交通混雑を考える ・景観を守る
- ・避難時、輪止めが邪魔 (※駐車場の一部が災害時の避難場所に指定)

②班

- ・トウクトックで鶴川・田深・安国寺（弥生のムラ）無料巡回
- ・遊具・カフェはここにほしい。(警察署横広場付近)
- ・ランニング用更衣室・シャワー室がほしい。
- ・カフェはアストの中にもあると聞いたので、再スタートしてほしい。
- ・待合室は見通しが良く（中からも外からも）ゆったりできる施設
- ・桜並木、ちょうちんをつけて花見をする
- ・秋になったらちょうちんをつけて（光アップでも）
- ・もみじがり

【河畔公園】

①班

- ・子どもが虫捕りできる場所
- ・スロープ、手すり（旦過橋付近の河川へ降りる階段）
- ・ベンチ ・木に名前 ・木陰
- ・川に降りれる階段、座ってお弁当が食べれるくらい
- ・河原遊び、手洗い足洗い場
- ・段数を減らす（真ん中辺りの河川へ降りる階段）
- ・対岸に渡る橋（沈み橋?）
- ・河川敷側の整備（階段部分、草のある斜面）
- ・季節の花（川向うに）、観光地として市外の人も来てもらえるように
- ・河川の草刈りをしたくなった（市民イベント）
- ・草すべり（斜面利用） ・ゆったりとした駐車場
- ・DAY キャンプ（焼肉・芋炊きスペース）
- ・バイクスタンド（自転車） ・バス停
- ・多目的トイレ ・きれいなトイレ ・トイレが数ヶ所
- ・障がい者用のスロープも設置してほしい
- ・大きい木、木陰 ・草すべりできる場所
- ・屋根付き休憩所 ・安全な遊具（小さい子スペース）
- ・公園周りに人の目はあるのか？（子供たちの安全、治安面）
- ・公園の中間点に休憩する小屋が欲しい（休憩所）
- ・様々な年代の方が集える工夫
- ・ゴム床ランニングロード
- ・アスレチック
- ・河川周囲のウォーキング・ジョギングコース（歩行・ジョギングの距離表示）
- ・オリエンテーションコース（体力 UP 固定遊具）
- ・フェンス ・遊具類 ・バスケットゴール
- ・滑り台、ブランコ、砂場 etc
- ・公園遊具 ・ボルダリング（小） ・木製遊具
- ・キッチンカースペース
- ・キッチンカーや出店スペースがあると良い

②班 -1

- ・公園の中にガラス張りで見晴らしの良いカフェがあると良い。(テラス席あり、安い値段)
- ・塔をたてて街並みが一望できるようなもの、遊具、展望台などがあっても良い。
- ・通る道も平らだったので通りやすい。段差は無かった。
- ・川に沈む石橋で対岸にかける（2つぐらい）
- ・川岸にせせらぎ等の工夫を ・川岸の整備が必要
- ・川に降りる段差、道路から上がる階段などにも工夫を
- ・うなっくら（うなぎを獲る石組の仕掛け）
- ・矢切の渡しならぬ田深の渡し（SUPで?）
- ・季節の花などを鑑賞できること。フラワーロード風に設計すると良い。
- ・桜並木、河津桜などをずっと植えると良い。
- ・遊具等の配置を考えて、そろえること。いろんな工夫したもの。
- ・周りの立派な家も夜になるとイルミネーションなどを付けて応援してくれるといいかなあ。
- ・ランニングロード気持ちよさそう。(ココ 1km 2km 距離があるといいナ)
- ・あじさい、つつじなどを子どもの絵のように切って工夫すると良い。
- ・世界一の足つぼロード 300m とか ... 健康のまち
- ・大木は切らないでほしい。
- ・遊具が無くて ... ドラム缶やドラえもん空き地のような泥んこ公園
- ・宇宙アサガオいっぱい
- ・ベンチに工夫を
- ・雨が降っても雨宿りできる屋根付きのベンチを
- ・秋のもみじ等、川の岸に植えるのも1つの方法
- ・やっちゃんがない公園（花とやっちゃん、入っちゃん、さわいじゃダメ、よごしやダメ）⇒大人が言うてはいけない。

【河畔公園】

②班 -2

- ・川に橋を増やして反対側にも簡単に行けると、今ある公園（長峰）ももっと利用が高まると思う。
- ・気持ちいいけど、ちょっと休憩したい（カフェ?、カップの自販機?）
- ・川端の路との段差をうめるスロープがほしい。
- ・田深川のすぐ近くまで安全に降りられる通路がほしい。
- ・大型遊具があると良い。
- ・車椅子や足の不自由な方も楽しめる施設
- ・もう少し広さがほしい。
- ・子どもの遊び場・遊具設置（①親が付き添う、②祖父母等（高齢者）の憩い場）
- ・住宅建設の推進（人口が増える←生活環境の整備拡大）
- ・田深川沿線の利用→人が集まる
- ・水が心配 ・排水路の管理

③班

- ・木製ベンチ（既存）がグラグラして危険!
- ・川を渡れるブロック?等があると良い
- ・左岸と右岸をつなぐ橋
- ・両岸を行き来できる様な橋（国産木材使用）を 2～3ヶ所かける（沈み橋 2本と浮き橋 1本）
- ・ジャコウアゲハ育成プロジェクト実施中
- ・カモが泳いでる
- ・うなっくらで漁している（伝統漁）
- ・木工沈床（河川土木の設計例）
- ・ゲルバー橋
- ・ドングリ等現在ある木で子どもたちが楽しめている。⇒子供が楽しめる木の植樹
- ・もっと美しい河川アピールの看板ほしい
- ・田深川両岸に桜植樹してもらい、桜並木としたい。
- ・春夏秋冬の花 or 木がそろうといいなあ
- ・桜の季節が終わればあと、何の花が楽しめるのか?

発表



①班	公園	トイレは公園の真ん中辺り、小さい子の目配りができる遊び場の配置について 等
	交通	子どもの安全を考え、大きい車の進入はセブンイレブンの横（北側）の土地から交通結節点に入り、一方通行にする 等

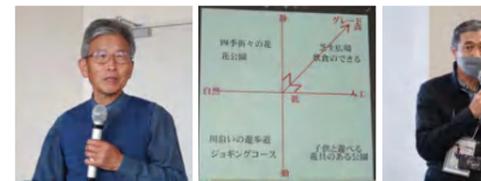


②班	公園	全体的には景観をそのまま整備を十分に、豊かな自然の中で何でもできて泥んこになれるような公園 等
	交通	公園と交通結節点をつなぐところに桜並木とちょうちんをつける、トウクトックで国東を巡回して国東全体で盛り上げたい 等



③班	公園	ジャコウアゲハ育成プロジェクト（ウマノズクサ畑）、特殊な工法のアピール（木工沈床、ゲルバー橋）、照明設備がほしい 等
	交通	景観を考慮して結節機能の場所を再考する、交通混雑を考慮してロータリーではなく敷地の外周を活用する 等

講評、閉会



講評 評として、「静と動」、「自然と人工」の指標から参加者の意見を整理して頂き、**バランス良くグレードの高い整備を目指すこと**について、先進事例の動画や写真、整備予定地のドローン動画を交え、佐藤先生からアドバイスを頂きました。



閉会 後に、徳永氏から次回の予定等の説明、事務局から閉会のあいさつで閉会しました。ワークショップ後のアンケートでは、**多くの肯定的なご回答や建設的なご意見**を頂きました。